



忘れられない**修学旅行**の記憶 ～ **仲間**とつくる思い出 ～

いよいよ明後日2日(水)から、3年生は修学旅行、2年生は職場体験、4日(金)には1年生が校外学習に向かいます。普段とは違う環境で学び、多様な人々と関わる中で大きな成長が期待される大事な学校行事のひとつです。

今から27年前、私が西有田中で3年担任をしていた時、修学旅行で京都を訪れました。2日間同じ旅館に泊まったのですが、最終日の朝、バスに乗り旅館をあとにする際の光景は、今でも鮮明な記憶として残っています。お世話になった旅館の皆さんが手を振って見送られる中に、涙を流しながら手を振られている方が何人もいらっしゃいました。あとで分かったことですが、旅館での生徒の振る舞いや言葉かけ、さり気ない気遣いや心遣いが、旅館の方々に多くの喜びと温もりを与えていたとのことでした。後日、「こんなに素敵な生徒さんたちに出会ったのは初めてでした。」との手紙をいただきました。

どこの学校にもいる普通の中学生たちが、旅先で見せた真の姿だったのではないかと思います。内面から自然に出てくる言動が、多くの大人を感動させた出来事でした。

一人一人の行動は、自分だけでなく集団(学校)全体の印象にもつながります。だからこそ、集団のきまりや公共の場でのマナーを大切にしながら活動してほしいと思います。修学旅行は遊びに行くわけではなく、学校では得ることのできない学びを深めるためのものです。そのためには、集団のきまりを守ることはもちろん、公共の場でのマナーやルールも守る必要があります。それは、家や学校で過ごす普段以上に大切にしなければなりません。修学旅行のしおりにある「修学旅行の成功のために」を常に意識し、実り多い3日間になること、少し成長した笑顔で帰ってきてくれることを期待しています。

残暑お見舞い申し上げます

毎朝、昇降口前で子どもたちの登校を待っていますが、1学期よりも身長伸びた子が増えていることに気づきました。心身ともに成長を続ける子どもたちから、若いエネルギーをコソコソもらっていたつもりですが、先日の人間ドックで身長が縮んでいました…しかも2年続けて。仕方のないことですがかなりショックです(๑_๑)

しかし、子どもたちとの関わりが元気をくれることは事実で、毎朝交わすあいさつや笑顔にたくさんのエネルギーをもらいながら、「支えてもらっているなあ…」と実感する今日この頃です。

まだまだ暑い日は続きますが、保護者の皆様どうぞご自愛ください。

校長室より 学校の外にも先生はいる

いよいよ今週、3年生は修学旅行、2年生は職場体験、1年生は校外学習に出かけます。学校では、先生や友達と共に学ぶ毎日を送っていますが、学校の外に出ると、そこにもたくさんの「先生」がいます。

修学旅行先で出会うホストファミリーやホテル・見学施設の方々、職場体験でお世話になる事業所の皆様、校外学習先で関わる県立宇宙科学館の方々。その一人一人が、私たちに様々なことを教えてくださいます。

ただし、その学びは受け身では得られません。自分からあいさつをすること、相手の話をしっかり聞くこと、感謝の気持ちを言葉で伝えること。そんな小さな行動を積み重ねた人ほど、多くの学びや気づき、素敵な出会いを得ることができます。

「何を見たか」だけでなく、「誰と出会い、何を感じたか」。

ぜひ人との出会いを大切にしながら、学校では学べない貴重な経験(学び)を積んできてほしいと思います。そして、一回り成長した皆さんの姿を見ることを楽しみにしています。

By 身長が縮み始めた先生より (^^)/